

調査研究部会 2025年度 活動実績一覧

月	開催日	種別	場所	内容・テーマ	参加	成果・発見	来期への引継ぎ
4月	4月15日	分科会①	JWDA+オンライン	WDLIデータ拡充意見交換 WD賞建築・空間データの拡充方針確定・WD賞部会との協働スキームを合意 施設別担当体制の第1案決定	16名	WD賞部会との協働スキームを合意 施設別担当体制の枠組みを確定	施設別担当体制の継続・WD賞部会連携の推進
5月	5月28日	勉強会①	大建工業 東京SR	大建工業株式会社 東京ショールーム見学会 国産木質建材の最新技術リテラシーを高める少人数現地型勉強会	5名	少人数現地型勉強会のモデル事例として記録 設計・提案現場での活用イメージを養った	現地型少人数勉強会フォーマットの確立
6月	6月26～27日	勉強会②	熊本大学+オンライン	内装木質化に使われる建材・素材の実物を体感 熊本大学共同主催 勉強会（地方開催） 地方における国産材活用の実践知を産・学・官の三者から学ぶ 登壇：熊本大学・新産住拓・熊本県建築課	18名	地方大学・企業・行政との共同開催スキーム確立 地方で木造が「選ばれる理由」の証言を収集	地方連携モデルの記録と今後の展開先拡大
7月	7月23日	勉強会③	JWDA+オンライン	林野庁 令和6年 森林・林業白書勉強会 講師：林野庁 市川隆史氏 国の木材・林業政策の動向と補助金重点を会員へ共有	60名	外部公開型セミナーの有効性を実証 政策重点・補助金動向の会員共有	4年連続開催→林野庁との信頼関係を継続
9月	9月15日	データ制作委員会①	オンライン	エコプロ展などの開放的な空間における機器を使用した木質空間・非木質空間での生体試験実施の可否を協議、可決	—	開放的な実環境での生体計測実施を正式決定	エコプロ展での生体試験実施への引継ぎ
9月	9月24日	分科会②	JWDA+オンライン	WDLI進捗報告・データ収集一元化確定 データ収集・入力作業を事務局に一元化する体制変更を確定	20名	事務局一元化によるデータ管理体制確立 使用許諾プロセスの整備を合意	事務局一元化体制の継続
10月	10月23日 ～11月3日	勉強会④	オンライン配信	三浦豊氏（森の案内人）動画配信 「森と木の学び」 カエデ・クスノキ・エノキ等の樹種別解説 会員・家族・友人向けに無料開放	—	定性的コンテンツで木の感覚的価値を届けるモデルを確立 木と人の感覚的なつながりへの理解を醸成	定性的コンテンツ活用モデルの継続検討
11月	11月20日	データ制作委員会②	オンライン	機器を使用した生体試験運用の実施要領説明 エコプロ展当日の運営フロー・計測手順を委員会で共有	—	当日運営フロー・計測手順の習熟	エコプロ展本番へ実施要領を引継ぎ
12月	12月5日	分科会③	JWDA+オンライン	WDLI意見交換・エコプロ展生体試験方法説明 ATMT生体試験の実施体制・当日運営フローの確定	21名	エコプロ展生体試験の実施体制確定 当日運営フローの完成	ATMT実施体制・フローを2026年へ継承
12月	12月10～12日	調査	東京ビッグサイト	BEYOND SDGs エコプロ展 アワード2025来場者アンケート（985件） ATMT生体試験（325件）：木質・非木質プース比較計測 実環境での生体計測が科学的に成立することを証明	— (来場者)	実環境での生体計測成立を証明 定量データと定性意識調査の双方を同一の場で取得	2026年4月に分析結果を公開 11月に外部公開型セミナーで発表
1月	1月27日	セミナー⑤（協会統一行事）	経団連会館+オンライン	新春セミナー「国産広葉樹の家具・内装材としての活用」 登壇：杉山真樹氏（森林総研）・小島勇氏（イトーキ）・笠松専務（カンディハウス） 科学的根拠と現場事例の両面から学ぶ場 （初開催・協会統一行事として実施）	115名 73団体	科学的データと感覚的証言の二軸発信モデルを確立 「なんとなく良いという感覚」も証言であるという認識を会員と共有	二軸発信モデルを2026年勉強会設計に適用
3月	3月（書面纏め）	調査件部会事務局纏め	書面報告（4月）	2025年度年次活動報告・2026年度年間計画先定	—	2025年度活動の総括 2026年度計画案作成	2026年度活動計画（案）の確定